住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

2026年11月11日

報道関係者各位

# 国際的デザインアワード「MUSE DESIGN AWARDS 2026」ポラスグループの作品が《Silver（銀賞）》を10点受賞

ポラスグループ
株式会社中央住宅
中央グリーン開発株式会社
ポラスマイホームプラザ株式会社

ポラスグループの各社が開発した作品が「MUSE DESIGN AWARDS 2026」（主催：International Awards Associate）において、《Silver（銀賞）》を10点受賞しました。ポラスグループは、2021年から同アワードを毎年受賞しています。

「MUSE DESIGN AWARDS」は、世界中の優れた独創的なデザイン作品を表彰する国際的なデザインアワードです。同アワードは2015年にInternational Awards Associate（IAA）によって設立され、デザイン界の基準をさらに高めていくことを目的としています。
（ホームページ：https://design.museaward.com）

## 受賞作品の紹介

### REASON Takanekodan

株式会社中央住宅
デザイナー　：山下 隆史、菅原 雄太
受賞部門　　：Architectural Design – Residential 部門



この分譲住宅は、柱で支えられた深い軒下空間（ピロティ）を1階部分に備え、屋内の居住スペースを共用の中央中庭へと緩やかに拡張しています。これらの屋根付き縁側は開放的な広場を美しく縁取り、強い日差しや雨を遮りながら、私的な屋内空間と公共の外部空間との境界を心地よく曖昧にします。1階のファサードは温もりある木目の仕上げと大開口のガラス引き戸を主体とし、共有の中庭に面して親しみやすくヒューマンスケールな佇まいを創出しています。

受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=42115

### THE PROVE Shinmatsudo

株式会社中央住宅
デザイナー　：山下 隆史、菅原 雄太、加藤 里実
受賞部門　　：Interior Design – Living Spaces 部門 、Interior Design – Residential 部門



豊かな自然素材の質感と床の高低差を大胆に活かすことで、洞窟を思わせる有機的な空間を演出するインテリアの提案です。手前には温もりあるダークウォールナットのフローリングが広がり、段差を経て光あふれるリビングスペースへと滑らかにつながります。この小上がり構造により、間仕切り壁を設けることなく、地形のような奥行き感が生まれました。天井の折り上げ部分には床の色調と呼応する板張りと露出した梁が施され、ダークスレート調のアクセントウォールが、ありのままの大地の力強さと落ち着きをリビングにもたらしています。

受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=42147

## Miranex NISHIOMIYA

株式会社中央住宅
デザイナー　：山下 隆史、加藤 里実
受賞部門　　：Interior Design – Living Spaces 部門



　ありのままの木素材の魅力と、開放的なオープンフロア設計を際立たせたインテリアの提案です。繊細な白の手摺子を組み合わせたスケルトン階段は、空間の視線の抜けを保ちつつ、象徴的な建築美を添えるアクセントとして機能しています。現しの木柱や板張りの天井パネルは、壁で仕切ることなくリビングとダイニングを緩やかにゾーニングし、フレキシブルに連続する開放的な空間コンセプトを体現しています。注ぎ込む豊かな自然光が清潔感のある白い内装に反射し、明るく軽やかで一体感に満ちた住空間を作り出しています。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=41950

## Be GRACE Gokou – Tsumugi no Mori – 1st STORY

中央グリーン開発株式会社
デザイナー　：今井 菜月
受賞部門　　：Interior Design – Residential 部門



　あたたかな木の質感に包まれたリビングに隣接させてパウダールームを設けました。パウダールームは自分だけの特別な空間となり、慌ただしい日常の中でも豊かな「自分時間」を育めるよう、日々のセルフケアや身だしなみを整えるために設計をしました。リビングと脱衣所の双方に隣接させることで、やわらかな自然光とリビングからの心地よい空調を取り込み、スムーズな生活動線をも実現。日々のルーティンの中に、心を満たす上質な時間が自然と溶け込みます。
　住まいの中心となるリビングは、小上がり空間とオープンキッチンがつながる開放的なつくり。緩やかに視線が交差し、いつでも家族の温もりを感じられる空間です。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winner.php

## Tsumugi Terrace:From Residential Lots to a Community Hub,Con

中央グリーン開発株式会社
デザイナー　：諸橋 健二
受賞部門　　：Architectural Design – Low Cost Housingl 部門



　分譲住宅の中央に公園を配置し、どの住戸からもアクセスしやすく、公園の様子を自然と見守れるランドスケープデザインとしました。公園のデザインは、住民を自然に迎え入れる象徴的な入口、中央のシンボルツリー、遊具の代わりにベンチやデッキを配置。桜をはじめとした四季折々の植栽を豊かに配し、季節の移ろいを感じられる景観を創出しています。さらに、当初の計画からあえて1宅地を減らして、公園の向かいには、屋根付きのコミュニティ拠点「つむぎテラス」を創出しました。「つむぎテラス」と公園が一体になり、公園に面する各住戸と合わせて「重層的な見守り構造」により、住民が抱える孤立感や防犯、防災、酷暑への不安を解消し、豊かな住環境を実現しました。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=41914

## BRI＆ST MINUMADAISHINSUIKOEN

中央グリーン開発株式会社
デザイナー　：河内 忠夫
受賞部門　　：Architectural Design - Low Cost Housing 部門



本プロジェクトは、土地区画整理事業の一環として行われる分譲住宅開発です。周辺の住宅地との調和を図るため、スクエアファサードを特徴とするモダンなデザインを採用し、大きな軒は夏の日差しを遮ります。
また、軒裏には木目調の仕上げを施すことで、自然環境に溶け込む、持続可能なスタイルを実現しました。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=42106

## Omompakaru：Empathic Baywindow Community

ポラスマイホームプラザ株式会社
デザイナー　：高橋 健太郎
受賞部門　　：Architectural Design - Residential 部門



安全と交流を目的とした歩行者専用の「リンク・ウォーク（遊歩道）」と、住民が集う「リンク・テラス（広場）」、そして家族の想いを表現するSNSの一枚のような「出窓」を街中に組み込むことで、住民同士の直接的、間接的な交流を生み出します。自然な情報交換と相互理解が、時間や場所、年齢、家族構成にとらわれない住人をつなぐコミュニティを創出します。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=41770

## FORESTLE OWADA GXgrade

ポラスマイホームプラザ株式会社
デザイナー　：高橋 健太郎
受賞部門　　：Architectural Design - Residential 部門



脱炭素社会への貢献（GX）と災害への強靭化（レジリエンス）の高い親和性に着目し、ハードとソフトの両面から「在宅避難」を可能にした全17邸の分譲住宅地です。日常の快適な暮らしが非常時の安全へと途切れなく繋がる「フェーズフリー」の考えに基づいた住環境を構築し、新たな分譲住宅の基準を提案する普及型モデルの街づくりとなっています。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=41800

## Alley garden terrace

ポラスマイホームプラザ株式会社
デザイナー　：吉岡 祐馬
受賞部門　　：Architectural Design - Residential 部門



都市から室内に至るまでのアプローチをグラデーションで表現し、都市と曖昧に接続性をもったコミュニティスペースとなる「間＝路地庭」を計画しています。路地庭と住戸の平面計画を一体的に捉え、その「間」を緑溢れる計画とすることで住まいの価値を豊かにし、非常時には互助の関係を生み出す提案です。必要不可欠な都市のインフラと住戸の中間領域となる路地庭テラスは、かつての日本家屋にも存在した通り庭を想起させるデザインとなっています。
受賞ページ：https://design.museaward.com/winners-info.php?id=41692

本件に関するお問い合わせ先
ポラスグループ　ポラス株式会社　コミュニケーション部　広報課
TEL：048-989-9151　FAX：048-989-3180
ニュースリリース：https://www.polus.co.jp/news/